

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんざいだんほうじんのうがくどうかしょうかく		団体ウェブサイトURL
	一般財団法人能楽堂嘉祥閣		https://www.kashokaku.jp/
代表者職・氏名	代表理事 井上周久		
制作団体所在地	〒 604-0866	最寄り駅(バス停)	京都市営地下鉄烏丸線丸太町駅
	京都府京都市中京区西方寺町160-1		
電話番号	075-222-0618		
ふりがな 公演団体名	いっばんざいだんほうじんのうがくどうかしょうかく		団体ウェブサイトURL
	一般財団法人能楽堂嘉祥閣		
代表者職・氏名	代表理事 井上周久		
公演団体所在地	〒 604-0866	最寄り駅(バス停)	京都市営地下鉄烏丸線丸太町駅
	京都府京都市中京区西方寺町160-1		
制作団体 設立年月	昭和35年 8月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事:井上周久 業務執行理事:井上裕之真、浦部好弘		構成員人数:155名 加入条件:加入希望者のうち代表理事の承認を得た者
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	井上由記子、吉田麻衣
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	井川正隆(税理士)
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	mai-monchan@s6.dion.ne.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>大正14年(1925年) 9代目井上嘉介により、旧嘉祥閣舞台を建設。 昭和35年(1960年) 財団法人 松声会 設立。 昭和36年(1961年) 第二次世界大戦の強制疎開によって失った舞台を、 能楽堂「嘉祥閣」として再建。 平成25年(2013年) 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣に改称し、能楽の育成、普及および発展 などを目指した事業を行う。</p> <p>当財団代表理事を務める当代11代目井上裕久は、京都で活動している能楽師が加入する京都能楽会の理事長、また全国の能楽師が加入する能楽協会の本部理事も務め、京都は勿論のこと全国にて能楽の普及および発展の為に活動しています。加えて、京都市観光協会理事として、能楽のみならず日本文化の存続と普及、国際交流にも携わっています。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>50年以上に亘り、年間複数回の公演と、学校へのワークショップ等多数実施。</p> <p>平成30年度 自主公演5回、学校公演 10校 令和元年度 自主公演5回、学校公演 6校 令和2年度 自主公演4回、学校公演 5校 令和3年度 自主公演11回、学校公演 5校 令和4年度 自主公演4回、学校公演8校 令和5年度 自主公演5回、学校公演 6校 令和6年度 自主公演5回、学校公演 9校</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成29年 能楽公演1校</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>狂言「柿山伏」https://youtu.be/6v7SjgLAfD8 能「敦盛」https://youtu.be/qcGMyKdDi-o (いずれも限定公開)</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	なし			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 一般財団法人能楽堂嘉祥閣】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	能の役者になってみよう！能「敦盛」と狂言「柿山伏」			
企画のねらい	今回の体験、鑑賞、また一員として舞台上上がる経験により、日本の文化の豊かさに触れ、能楽だけでなく、様々な日本文化に興味を持つ第一歩となることを目的とします。 日本には、能楽だけでなく、世界に誇る文化が世界でも一番といいほど、多々存在します。大人になる流れの中で、能楽などの伝統文化の鑑賞だけでなく、多々ある日本文化にいろいろな形で関わり、守っていく1人になってもらえることを目標としています。守り方というのはそれぞれの立場で違ってくるが、今回の企画を通して、そんな思いを持ってもらえると、信じています。			
演目概要・演目選択理由	【演目概要】◇狂言「柿山伏」…山伏は空腹のあまり柿の木に登り実を食べます。それを見た木の持ち主が山伏をからかうと、山伏は木から落ち…。◇能「敦盛」…平家物語の一ノ谷の合戦で16,7才で討たれた平敦盛を題材にした演目。出家した熊谷次郎直実が、菩提を弔おうと須磨の一ノ谷を訪れる。すると、笛をふき、4人の男が現れて… 【演目選択理由】◇「柿山伏」…教科書にも掲載され物語も分かりやすく、楽しく笑いながら鑑賞できる ◇「敦盛」…中学校国語教科書に、平家物語、敦盛の部分が掲載されており、馴染み深く、楽しく鑑賞できる。 また、始めに出てくる男4人のうち3人を、学校の生徒や児童が演じ、より興味を持って鑑賞できる。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	1) 校歌を斉唱してもらうなか、囃子を打ち、謡・囃子を身近に感じてもらう 2) 代表者に舞台上で仕舞の発表をしていただき、全生徒もフロアで謡を謡い振り返りを行う 3) 鼓の体験をエアーで全員行うなか「三番三」が始まり、一曲を通して共演者として演奏してもらう 4) 「敦盛」のツレ3人を、装束を着て演者の1人として代表者に演じてもらう			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10～500名(特別に登壇するのは10名強)	
		鑑賞人数目安	10～500名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>能「敦盛」と狂言「柿山伏」</p> <p>【1部】1) 始まりのご挨拶と話 5分 2) 狂言「柿山伏」実演 15分 3) 囃子「翔」実演 5分 4) 囃子のリズムに合わせて校歌斉唱 5分 5) 囃子の説明と小鼓体験 8分 6) 狂言「三番三(さんばそう)」実演 7分 --- 休憩5分 ---</p> <p>【2部】1) 舞発表 7分 2) 能「敦盛」実演 28分 3) 質問と終わりのご挨拶 10分</p>			
		<p>代表の生徒の方々には、実際に装束を着て左の4人のうちの3人として実演時に舞台上に出演してもらいます。</p>		
			↑能「敦盛」イメージ	
			公演時間 90 分	

<p>出演者</p>	<p>◆シテ方:井上裕久(井上周久)、井上裕之真、吉浪壽晃、寺澤幸祐、浦部幸裕、味方團、松井美樹、吉田篤史、松野浩行、宮本茂樹、鷺尾世志子、河村浩太郎、樹下千慧、藤井丈雄、笠田祐樹、寺澤拓海、吉田和史より10名 ◆ワキ方:岡充 ◆笛方:森田保美、左鴻泰弘より1名 ◆小鼓方:久田陽春子、林大輝より1名 ◆大鼓方:石井景之 ◆狂言方:茂山千五郎、茂山茂、茂山逸平、茂山千之丞、島田洋海、井口竜也、鈴木実、山下守之より2名 (※__は重要無形文化財保持者(総合認定))</p>					
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>■井上裕久(後見、又は地頭):1955年生、観世流職分、11代井上家当主 (公益社団法人)能楽協会 理事、(公益社団法人)京都観世会 専務理事、(一般財団法人)能楽堂 嘉祥閣 代表理事、(一般社団法人)京都能楽会 理事長 ■石井景之(大鼓):1964年生、石井流13世宗家、(一般社団法人)京都能楽会 理事 ■井上裕之真(シテ):1991年生、観世流準職分、井上裕久嫡男、(一般財団法人)能楽堂嘉祥閣 業務執行理事</p>					
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 16 名 スタッフ: 0 名 合計: 16 名</p>			<p>運搬</p>		<p>積載量: 1.5 t 車長: 11.5 m 台数: 1 台</p>
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 無</p>		<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>時間程度</p>	
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>12:00</p>	<p>12:00-13:00</p>	<p>13:30-15:05</p>	<p>5分</p>	<p>15:05-16:00</p>	<p>16:00</p>
<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>						
<p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>		
	<p>17日</p>	<p>12日</p>	<p>10日</p>	<p>12日</p>		
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>		
	<p>17日</p>	<p>11日</p>	<p>15日</p>	<p>9日</p>		
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>			<p>計</p>	<p>103日</p>	

① 公演イメージ・ステージ上



(ステージが約5m×10m以上ある場合はステージを使用)

② 公演イメージ・フロア上



(フロア上に舞台を設営する場合は約8m×10m以上の広さが必要)

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

※実際の能舞台には五色の幕や橋掛かり・松があり、正面には老松、脇には竹が描かれ、柱が立てられています。私達の公演ではステージ上(ステージがない場合には体育館のフロア上)にその全てを作り、能舞台の雰囲気を感じていただこうと思います。具体的には、松や竹の鏡板や五色の幕を目立たせ、周りに暗幕を張り、舞台左側の欄干際の松の量を増やして能楽堂独特の松の雰囲気を強めるなど、より能舞台の雰囲気を感じていただきやすいよう工夫しています。

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	ワークショップ時に配るあらすじコミック
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般財団法人能楽堂嘉祥閣】

<p>ワークショップのねらい</p>	<p>児童・生徒にとっての初めて出会う能楽が難しく感じないように、話を極力短くし、装束や面を間近で見せ、手に取ってもらうなど、まずはビジュアルから興味を持ってもらえるようにします。</p> <p>そうすることにより、より深く学習しようという意欲を膨らませます。特に、先生に装束をつけたり、代表者5名程度に面をつけることで、より興味を持ってもらえると思います。</p> <p>また、本公演と連動させ、ワークショップ時に稽古した事を本公演にて発表してもらうことにより、本公演時に、より楽しかったと思ってもらえるようにします。</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>10～500名</p>
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>標準:90分</p> <p>①装束付け(20分) 学校の先生に本公演で行う「敦盛」のシテの装束を着付けながら能楽について解説も同時に行います。</p> <p>②謡稽古「敦盛」(15分) 本公演で児童・生徒全員に謡ってもらい敦盛を稽古します。</p> <p>③仕舞「敦盛」(10分) 児童・生徒全員に先で稽古した敦盛を謡ってもらい、引き続き、そのまま敦盛を演じるのを、ご覧いただけます。</p> <p>(休憩)</p> <p>④能の配役と様々な面についての話(15分) 能の囃子や狂言など、様々な配役について、写真等を用いて、知ってもらい、また代表的な面を見せ、児童・生徒たちに面をつけていきます。</p> <p>⑤舞の稽古「敦盛」(30分) 本公演で発表してもらう敦盛を児童・生徒全員で、まずは扇の持ち方、歩き方から稽古します。 ※敦盛に子方として本公演に出演する児童・生徒は、⑤の時間に、別途敦盛の稽古をします。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>本公演で実演する「敦盛」のあらすじをより理解しやすいように、ワークショップ時にあらすじコミックを配布します</p> <div data-bbox="901 1489 1420 1859" style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  </div> <p>【参考】 →このようなコミックを配布します (例: 能「船辨慶」あらすじコミック)</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 一般財団法人能楽堂嘉祥閣】
<p style="text-align: center;">本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>700年の歴史をもつ世界最古の芸能「能楽」は、第一回世界無形文化遺産に登録される等、世界が認める伝統文化です。また近年、日本の学校教育の現場にて伝統芸能に対する教育が重視され、文化的な側面だけでなく、伝統芸能がもつ教育的な価値がますます注目されています。しかし一方で、長い時間の中で“極みの美”として様式化されたため、とりわけ子供達にとっては、分かりづらいもの、敷居の高いものとなっていることも事実。分かりづらいことは、無関心を生んでしまいます。</p> <p>能楽は、そもそも当時の民衆の娯楽として、また日々の生活の中でおこる思いや感情を表現する手段として相互補完的に発展してきた、大衆芸能です。そこには、現代の人々にも十分に理解できる、生活にまつわるエンターテインメントが底流しています。また能楽はその様式化の過程で、演者の所作や舞台は敢えて簡素化し、観る人の想像力を借りることで成立する芸能として発展してきました。能楽には、観る人の想像力を刺激するクリエイティビティが仕掛けられています。</p> <p>私ども能楽堂嘉祥閣は、本事業を、子供達が日本の伝統芸能に関心を持ち、理解するきっかけの場として認識しています。その為に、質の高い能楽の実演・鑑賞体験の提供に加え、鑑賞体験をより深いものへと昇華し、能楽の世界観をよりリアルに感じるこの出来るよう、気づきのプログラムを重視します。能楽は、当時の民衆が日々の暮らしを逞しく生活していくための知恵として創り出した物語や表現です。これらの物語や表現の様式を現代的なツール(あらすじコミック)を使用して学習・体験する事は、想像力豊かな子供達にとっては、多様な能楽観が生まれ、そこに伝統芸能の未来に対する様々な可能性が生まれると考えます。</p> <p>そして子供達に、より豊かな感性を育んでいただく為、特に演者との共演機会をできる限り増やし、一演目を通して全員で演奏したりし、芸術鑑賞能力の向上を図ります。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>(1)事前に実施校に電話連絡し、ワークショップにおける会場の設営など準備について説明する。</p> <p>(2)当日配布する資料の準備などを事前にメール連絡する。さらに事業を円滑に執り行うため、当財団ブログをご覧いただく。過去におこなった実施校でのワークショップや本公演の活動を載せているので、自校での公演の参考にしていただく。 また、演者の一人として舞台に立つ代表者が事前学習及び復習を兼ねて勉強をしやすいように、参考動画だけでなく、細かい説明を入れた動画を別途作成しご覧いただけるようにします。</p> <p>(3)ワークショップ当日は開始1時間前に会場入りし、公演準備をおこなう。</p> <p>(4)ワークショップ当日、本公演を円滑に行えるよう打ち合わせを行う。本公演終了後も学校から問い合わせがあれば、電話やメール、リモートにて対応する。</p> <p>(5)本公演当日、開演2時間前に会場入りし、公演準備を行う。</p>